

## 栗駒山の火山活動解説資料（平成30年2月）

仙台管区気象台  
地域火山監視・警報センター

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。  
噴火予報（活火山であることに留意）の予報事項に変更はありません。

### ○ 活動概況

#### ・噴気など表面現象の状況（図1）

大柳に設置している監視カメラによる観測では、噴気は認められませんでした。

#### ・地震や微動の発生状況（図2）

火山性地震及び火山性微動は観測されませんでした。

なお、栗駒山周辺では、「平成20年（2008年）岩手・宮城内陸地震」の余震域内で地震活動が続いています。

#### ・地殻変動の状況（図3、図5）

火山活動によると考えられる変化は認められませんでした。



図1 栗駒山 山頂周辺の状況（2月22日）

- ・大柳（山頂の南東約20km）に設置している監視カメラの映像です。

この火山活動解説資料は、仙台管区気象台のホームページ（<http://www.jma-net.go.jp/sendai/>）や、気象庁ホームページ（[http://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/monthly\\_v-act\\_doc/monthly\\_vact.php](http://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php)）でも閲覧することができます。次回の火山活動解説資料（平成30年3月分）は平成30年4月9日に発表する予定です。

この資料は気象庁のほか、国土地理院、東北大学及び国立研究開発法人防災科学技術研究所のデータも利用して作成しています。

本資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の「数値地図50mメッシュ（標高）」を使用しています（承認番号 平29情使、第798号）。

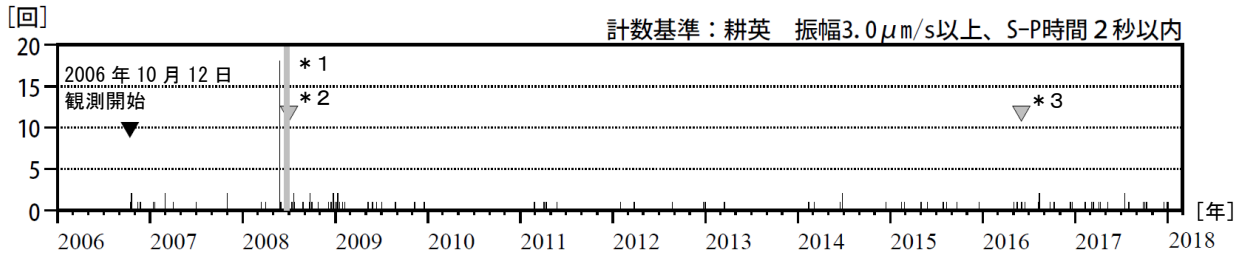


図 2 栗駒山 日別地震回数（2006 年 10 月～2018 年 2 月）

- ・基準観測点の変更は次のとおりです
- 観測開始 2006 年 10 月 12 日～旧耕英観測点
- \* 1 2008 年 6 月 14 日～7 月 2 日 18 時（図の灰色部分）まで「平成 20 年（2008 年）岩手・宮城内陸地震」の影響により観測不能
- \* 2 2008 年 7 月 2 日～<sup>おやす</sup>小安観測点（2010 年 10 月 8 日まで）及び広域地震観測網
- \* 3 2016 年 6 月 1 日～耕英観測点

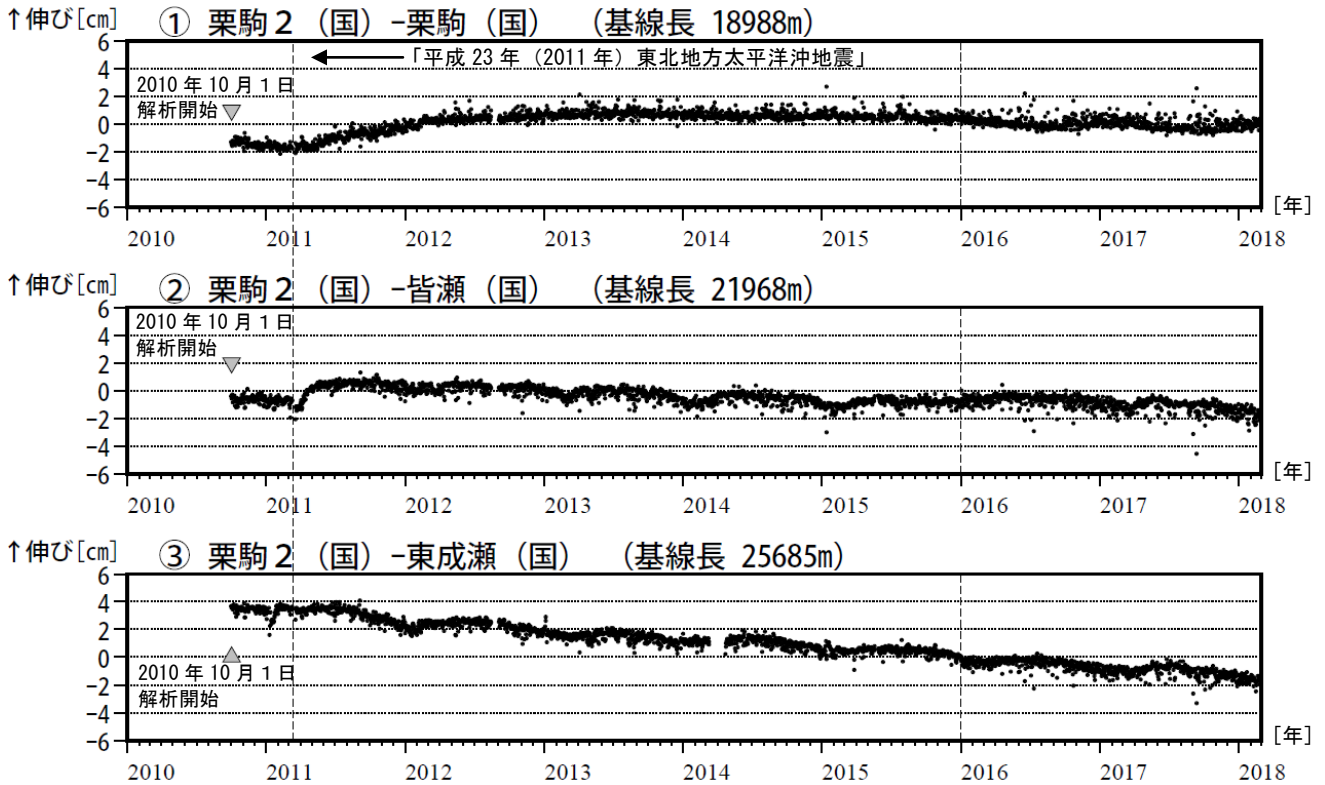


図 3 栗駒山 GNSS<sup>1)</sup> 基線長変化図（2010 年 10 月～2018 年 2 月）

- ・「平成 23 年（2011 年）東北地方太平洋沖地震」に伴うステップを補正しています。
  - ・①～③は図 5 の GNSS 基線①～③に対応しています。
  - ・グラフの空白部分は欠測を表しています。
  - ・(国) は国土地理院の観測点を示します。
  - ・2016 年 1 月以降のデータについては、解析方法を変更しています。
- 1) GNSS とは Global Navigation Satellite Systems の略称で、GPS をはじめとする衛星測位システム全般を示します。

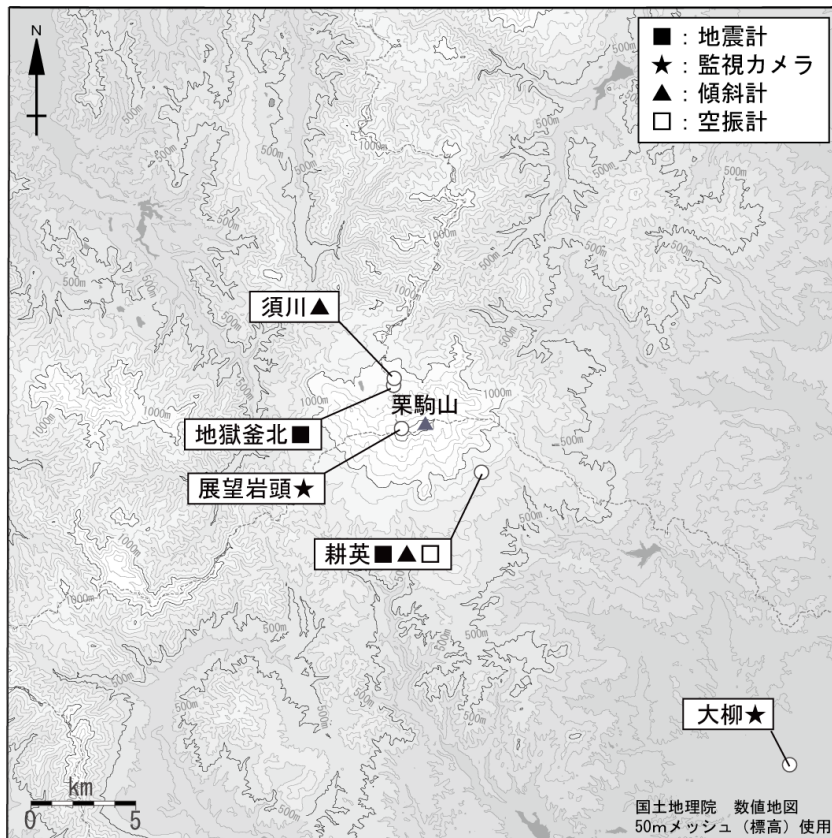


図4 栗駒山 観測点配置図

小さな白丸（○）は気象庁の観測点位置を示しています。

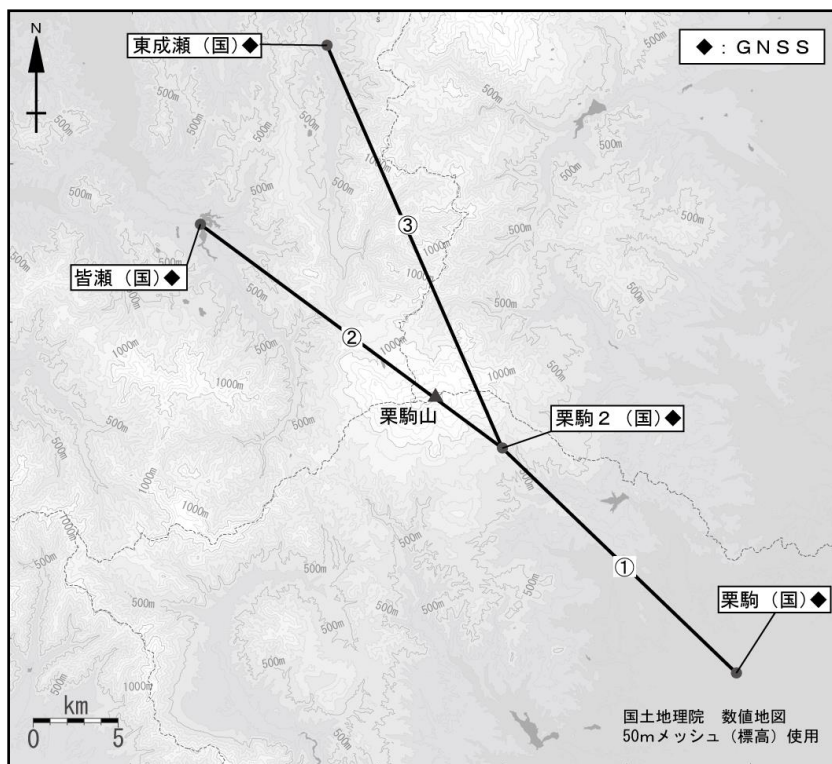


図5 栗駒山 GNSS 観測点配置図

小さな黒丸（●）は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。  
（国）：国土地理院